

## 「放送セミナー」プログラム

日 時 : 令和4年10月27日(木) 13:30から16:00まで

開催方法 : You Tube による Web セミナー

時 間	プログラム	演題・講師
13:00 ~13:30		ログイン可能
13:30 ~13:40	開会	主催者挨拶 東北総合通信局
13:40 ~14:40	【講演1】	<p>演題:「より安全で快適な社会・放送に向けた技術2題            ・災害情報の多様化に向けた V-low の活用動向            ・地デジ放送音声のラウドネス測定に関する基礎研究」            講師:東北文化学園大学知能情報システム学科教授            鈴木 陽一 氏</p> <p>講師経歴:            1981.3 東北大学大学院工学研究科電気及通信工学専攻            修了(工学博士)。その後、東北大学電気通信研究所助手、同            大型計算機センター助教授、同電気通信研究所助教授等を歴            任。            1999.8~2019.3 東北大学電気通信研究所教授            2014.6 志田林三郎賞            2017.11~2021.3 NICT 耐災害 ICT 研究センター長            2019.4 東北大学名誉教授            2021.3 NHK 放送文化賞            2021.4 現職、NICT R&amp;D アドバイザー</p> <p>この間、ラウドネス、視聴覚相互作用など聴覚と多感覚情報            処理過程に関する基礎研究と、その知見を生かしたデジタル            補聴器、音信号電子透かし、聴覚ディスプレイ、屋外拡声技術            等のシステム開発研究に従事。</p> <p>講演概要:            ICT 分野では、放送・通信をより安全で快適な社会の実現に            資するための努力、そしてそれ自体をより安全で快適なもの            とする努力が進んでいる。</p> <p>本講演では前者の観点から、現在検討が進んでいる V-low            帯域の一部を災害情報伝達に活用する取り組み「FM 防災情報            システム」の概要を紹介する。また、後者の観点から、地上デジ            タルテレビ放送における音声信号のレベル調整が VU メータか            らラウドネスベースに変わったきっかけの一つとも考えられる、            講演者の研究を紹介する。これは、等ラウドネスレベル曲線に            関するもので ISO 226: 2003 として国際標準になり、現在まで            使われている。</p>
14:40 ~14:50	休 憩	

<p>14:50 ~15:50</p>	<p>【講演2】</p>	<p>演題:「700MHz帯携帯電話基地局からの電波によるテレビ放送受信の影響とその解消策等について」(仮題)  講師:一般社団法人700MHz利用推進協会  テレビ受信対策渉外部 渉外グループ担当部長  三浦 望 氏</p> <p>講師経歴:  2012年10月 株式会社NTTドコモ入社  2022年07月 一般社団法人700MHz利用推進協会 出向</p> <p>講演概要:  携帯電話基地局の電波(700MHz帯)が、テレビ放送受信に影響(障害)を引き起こすメカニズムとその症例、また障害発生の防止、解消対応等、当協会の取り組みを交え、説明いたします。</p>
<p>15:50 ~16:00</p>	<p>閉会</p>	